

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービスよぎ長与校		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35 (回答者数)	30
○従業員評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 25日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	中高生を中心として、卒業後の自立に向け生活講座や社会体験を行っている。	土曜日の活動プログラムに社会体験や生活講座を組み込み、実際に企業へ訪問したりボランティア活動、マナー講座等柔軟な活動提供に努めている。	利用児童の興味がある分野の企業訪問など、児童の要望に応じていきたい。
2	利用児童の課題やニーズに合った支援プログラムを考え、個々の療育として取り入れている。	運動面やコミュニケーション面、社会性等、個々の課題を指導員間で照らし合わせ、一人ひとりに合わせた課題提供に努めている。	個々の課題だけではなく楽しんで活動に参加できるよう、今後も個々のニーズ（やりたい事）を活動に組み込んでいきたい。
3	制作活動やイベント開催、グループワーク等様々な経験や体験を提供している。	季節に合わせた制作活動やイベントの開催を行っている。また、毎月壁面の装飾を変えながら季節感が味わえるように工夫している。 ボール遊びや遠出の外出、ボランティア活動、外部との交流、保護者の参観型活動など新しい活動に挑戦している。	今後も継続していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動概要や行事予定などの情報発信が出来ていない。	情報発信の担当者を決めていなかった為、発信活動が疎かになっている。	情報発信の担当を決め、定期的に通信等の配布を行うよう心掛ける。また、SNS運用を周知していく。
2	土曜日の利用者数や中高生の利用確保が難しい。	立地条件の面から、各中高生の平日の利用が難しい。また、土曜日利用者数が少ない。	中学、高校への進学後土曜日利用を視野に話をしていく。また活動内容を模索しながら、小学生への土曜日利用を促していく。
3			